

令和4年度の主な事業

今年度の主な事業を紹介します。事業は目的別に分類しています。

1 安心して子育てができるまちへ

母性保健事業

453万円



オンラインサービスを利用し、小児科医、産婦人科医、助産師にいつでも相談できる環境を整え、疾病や育児の不安の解消を図ります。

2 新たな産業用地造成へ

産業用地造成事業

2,963万円



新たな産業用地の造成を行い、地域密着型企業の誘致を戦略的に推進することにより、就業環境の整備と新たな雇用の創出を図ります。

3 市民提案型まちづくり

市民提案型まちづくり事業

144万円



市内に活動拠点のある市民団体やグループが地域課題の自主的・主体的な解決に向け企画実施するまちづくり事業に対し補助します。市民と行政の協働による住みよい地域社会づくりを推進します。

今年度、①～④の事業は特に力を入れてまいります。



4 楽しく自由に未来を創ろう

次世代育成推進事業

419万円



「かく大学」や「高校生地域探究活動支援」事業等を通して、新たな学びの場から次世代と地域社会を繋ぎ、変わりゆく社会の中における主体的な挑戦を後押しし、未来へ活かす学びの循環を創出します。

子育て家庭の経済的負担緩和

子ども医療費助成事業

1億362万円



子ども医療費の自己負担分を全額助成し、医療を確保することにより、子どもの福祉の向上を図ります。

子育て世帯への生活支援

新型コロナウイルス感染症対策
臨時特別出産給付金支給事業

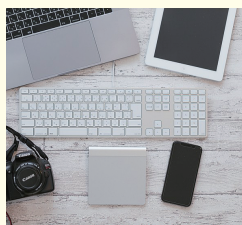
1,415万円



新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、子育て世帯への臨時特別給付金の対象とならない令和4年4月1日から令和5年3月31日までに出生した子どもの母親（保護者）に対し、出生児1人につき10万円を支給します。

デジタル化で住民の利便性向上

デジタル改革推進事業 1,572万円



国が掲げる「デジタル田園都市国家構想」に対する方針、さらには自治体のDX化への推進要請等の状況を踏まえ、ICTの進展や、マイナンバーカードの普及促進などを行います。

住民票等コンビニ交付サービス開始に向けて

番号法対応事業 4,957万円



マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストアで住民票、戸籍謄抄本などの各種証明書を交付することにより、市民の利便性の向上を図ります。

通院等タクシー利用料金を助成

みやぎ県南中核病院通院等
タクシー利用助成事業 302万円



市民が、みやぎ県南中核病院へ通院等のためにタクシーを利用した場合に、その料金の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

農業の担い手を確保

人・農地プラン推進事業 2,090万円



新規就農者の農業用機械や施設などの取得費用の一部を助成します。また、農業者の高齢化への対応として、将来にわたり地域の農地利用を担う経営体を確保することを目的に、経営継承・発展支援事業を行います。

脱炭素・循環型社会実現に向けて

環境保全対策事業 2,015万円



良好な環境の保全と創造に関する施策の実現のため「第3次角田市環境基本計画」を策定します。併せて「地球温暖化対策実行計画」や「再生可能エネルギー導入計画」を策定し、脱炭素・循環型社会を推進します。

大雨時の防災減災対策

沼南野田前線・駅前花島線・大沼
野田前線・南町斗蔵線道路整備事業 2億8,001万円



防災減災構想に基づき、市街地への雨水流入阻止や、大雨時の緊急輸送経路・避難経路確保のための整備工事を行います。

商業・地域経済活性化

商業振興事業 466万円



「かくだ創業スプラウト」や「創業者家賃補助事業」により新規創業者の確保と創業開始時の支援を行うことで地域経済や商店街を活性化させ、内発的産業振興による安定した雇用の確保を図り、商業と地域の発展を推進します。

安全で長く利用できるスポーツ施設へ

総合体育館改修事業 2億1,392万円



角田市公共施設個別施設計画策定に際して行った劣化状況評価に基づき、老朽化している総合体育館の屋上、外壁等の長寿命化改修工事を行うことにより、施設の安全性を確保します。

児童生徒が安心して通学するために

スクールバス運行事業 9,179万円



学校統合により通学距離が遠距離となった児童生徒が安心して通学できるようにスクールバスを運行します。

心のケアハウス

子どもの心のケアハウス運営事業 1,410万円



家庭と学校の間隔的な子どもの居場所「CoCoはうすかくだ」で、不登校の児童生徒やその保護者に教育相談や生活相談、学習指導等の支援を行います。